



2020年3月期決算説明資料 (2019年4月1日～2020年3月31日)

2020年5月13日



株式会社 近鉄エクスプレス
kintetsu world express

■ 2020年3月期決算概要

- 02 2020年3月期業績概要
- 03 営業収入と原価・販売管理費の比較
- 04 貸借対照表-1
- 05 貸借対照表-2
- 06 キャッシュ・フロー計算書
- 07 営業収入のセグメント別内訳
- 08 営業利益のセグメント別内訳
- 09 セグメント別営業総利益率・営業利益率
- 10-15 2020年3月期 セグメント別 概況
- 16 2021年3月期業績見通しについて

■ 事業環境の認識と今後の見通し

- 18 COVID-19の影響に対する当社の対応
- 19 COVID-19の影響による事業環境の変化
- 20 中期経営計画 1年目の主な進捗 (1)
- 21 中期経営計画 1年目の主な進捗 (2)
- 22 中期経営計画 1年目の主な進捗 (3)
- 23 今後の見通し
- 24 中期経営計画(2019~2021年度)
- 25 長期ビジョン
- 26 配当について

■ 参考資料

- 28 営業収入の事業別内訳
- 29 輸送モード別の営業粗利益率
- 30 セグメント別物量実績(航空)
- 31 セグメント別物量実績(海上)
- 32 航空・海上輸送物量取扱実績(仕向地別構成比)
- 33 当社グループのグローバル・ネットワーク

2020年3月期業績概要

件数(千件) 重量(千トン) 容積(千TEU) 金額(百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額 (前期比)	増減率 % (前期比)
航空輸出重量	600	556	△44	△7.3
航空輸入件数	1,340	1,207	△133	△9.9
海上輸出容積	700	644	△56	△7.9
海上輸入件数	287	272	△15	△5.3
営業収入	592,009	544,533	△47,476	△8.0
営業総利益	96,957	93,846	△3,110	△3.2
営業利益	20,797	19,714	△1,082	△5.2
経常利益	19,939	17,432	△2,506	△12.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,857	4,724	△5,132	△52.1

適用レート	2019年3月期	2020年3月期 第2四半期	2020年3月期
対USドル	110.91円	108.63円	108.74円
対EURO	128.41円	121.42円	120.82円
対香港ドル	14.14円	13.86円	13.91円
対中国元	16.54円	15.68円	15.60円

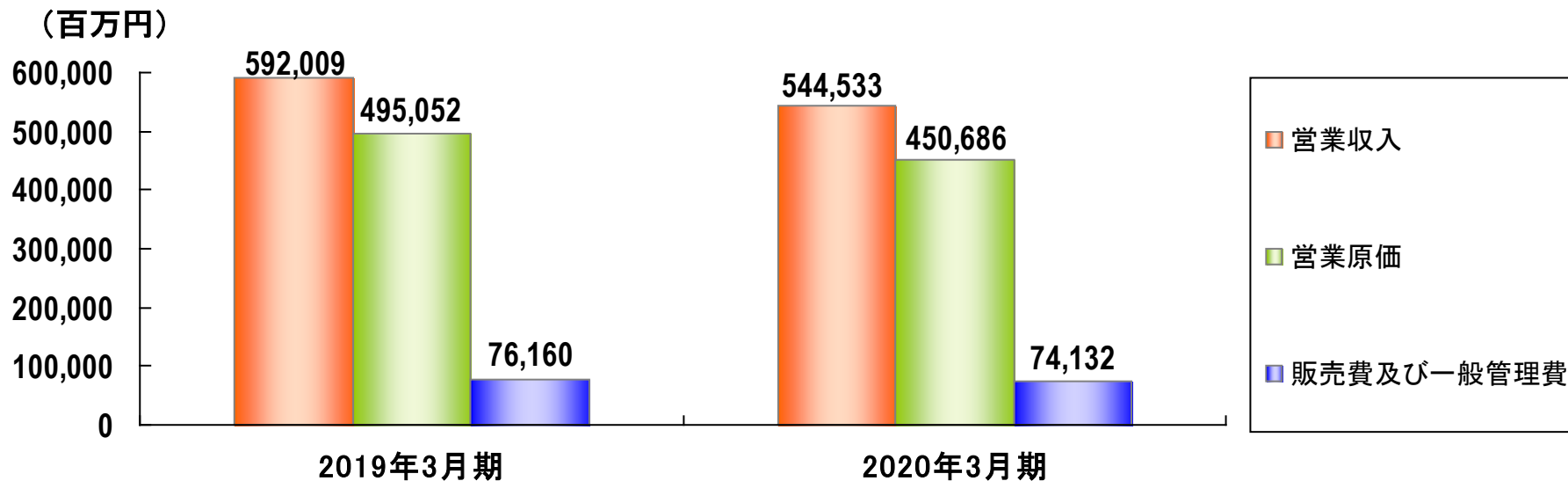
指標	2019年3月期	2020年3月期
EPS	136.91円	65.68円
BPS	1,690.89円	1,615.38円
ROE	8.2%	4.0%

中期経営計画(2019~21年度)
最終年度目標 営業総利益率16.4%以上

為替による影響額(連結)
営業収入: △12,077百万円、営業利益: △603百万円

	2019年3月期	2020年3月期
営業総利益率	16.4%	17.2%

営業収入と原価・販売管理費の比較



(百万円)

	2019年3月期	対営業収入比	2020年3月期	対営業収入比
営業収入	592,009	100.0%	544,533	100.0%
営業原価	495,052	83.6%	450,686	82.8%
販売費及び一般管理費	76,160	12.9%	74,132	13.6%
営業利益	20,797	3.5%	19,714	3.6%

貸借対照表－1

(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	202,018	193,964	△8,054
固定資産	186,448	191,449	5,000
有形固定資産	46,137	68,145	22,007
無形固定資産	114,683	102,173	△12,509
投資その他の資産	25,627	21,129	△4,498
繰延資産	—	56	56
資産合計	388,467	385,470	△2,997
(負債の部)			
流動負債	122,729	127,957	5,227
固定負債	133,913	130,906	△3,007
負債合計	256,643	258,864	2,220
(純資産の部)			
純資産合計	131,823	126,606	△5,217
負債純資産合計	388,467	385,470	△2,997

■有利子負債

(百万円)

2019年3月期	2020年3月期	前期比金額
160,933	145,544	△15,389

■設備投資額

(百万円)

2019年3月期	2020年3月期	前期比金額
8,025	5,962	△2,063

◆主な投資（2020年3月期）

IT・ソフトウェア関連、物流施設関連、事務所関連

■減価償却費

(百万円)

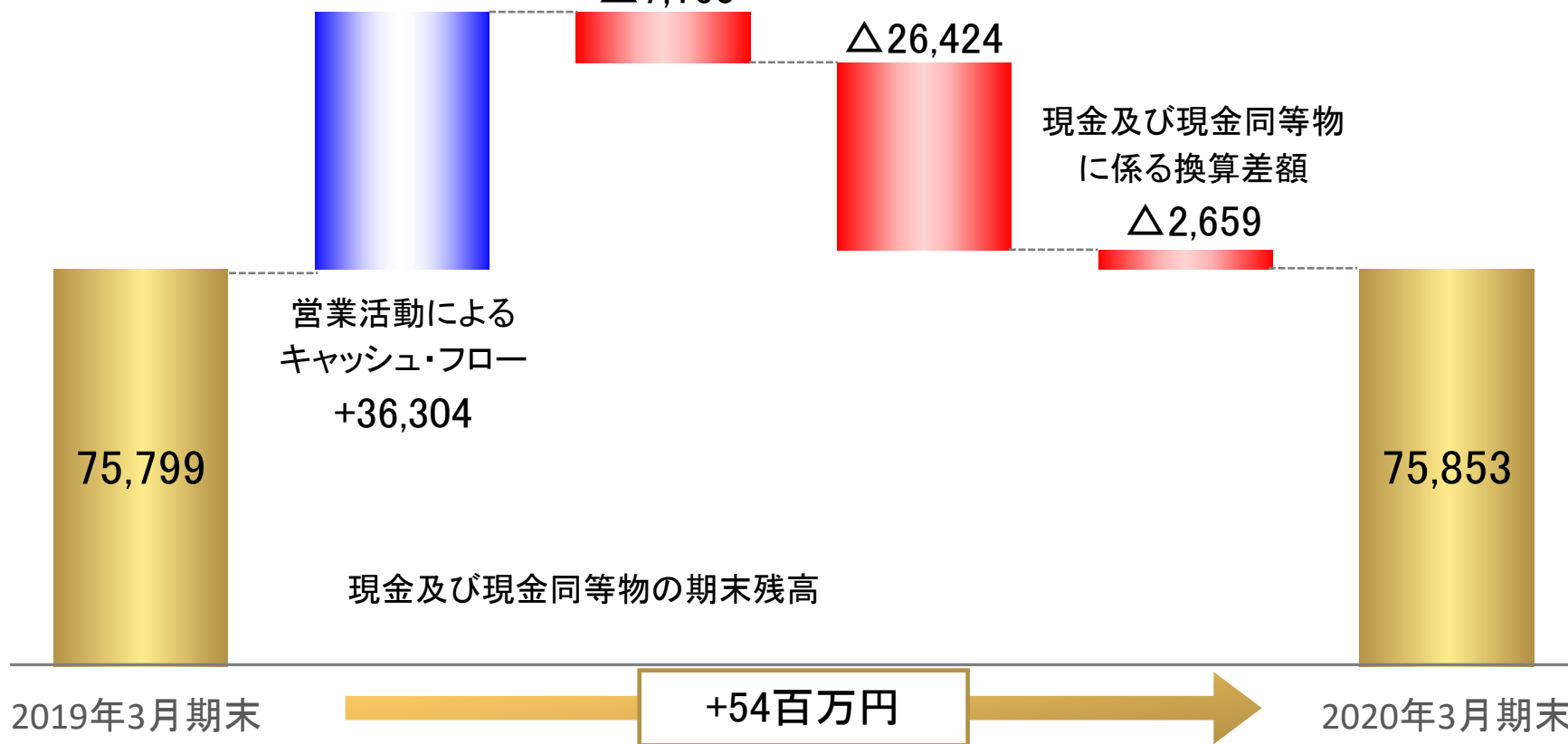
2019年3月期	2020年3月期	前期比金額
8,418	17,145	+8,727

キャッシュ・フロー計算書

投資活動による
キャッシュ・フロー $\Delta 7,165$

財務活動による
キャッシュ・フロー $\Delta 26,424$

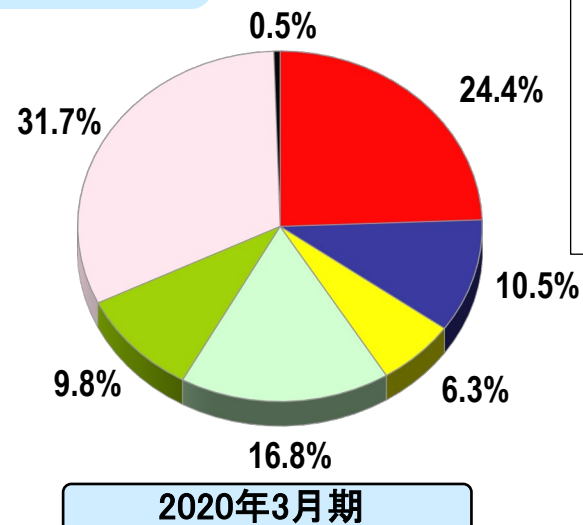
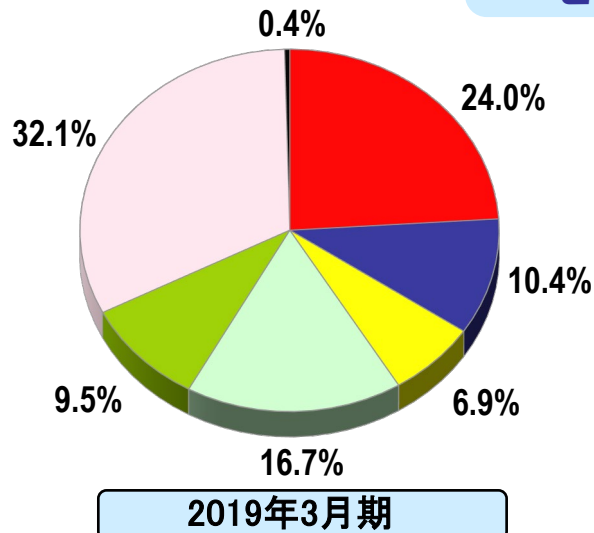
金額単位: 百万円



■ 現金及び現金同等物の期末残高

営業収入のセグメント別内訳

セグメント別構成比



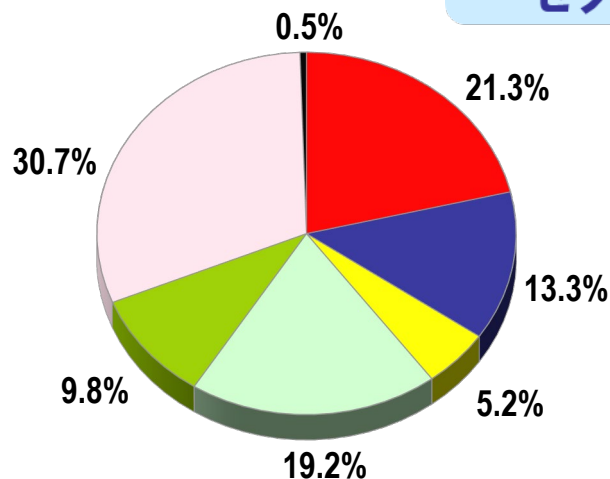
セグメント別営業収入	2019年3月期	2020年3月期	前期増減率 %
日本	145,669	136,808	△6.1
米州	63,476	58,793	△7.4
欧州・中近東・アフリカ	41,934	35,391	△15.6
東アジア・オセアニア	101,531	93,947	△7.5
東南アジア	57,966	54,783	△5.5
APLL	194,982	177,147	△9.1
その他	2,685	2,727	1.5
調整額	△16,236	△15,066	—
合計	592,009	544,533	△8.0

(百万円)

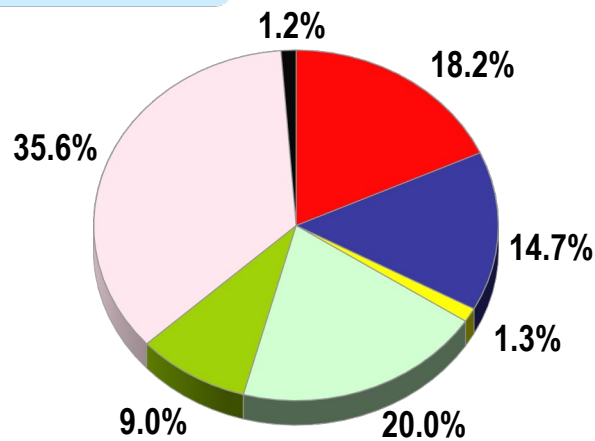
※当第2四半期より、連結子会社1社を「APLL」から「米州」へセグメント変更しており、前期のセグメント実績は変更後の区分で記載しています（前期は米州で+1,941百万円、APLLで△1,941百万円の影響）。

営業利益のセグメント別内訳

セグメント別構成比



2019年3月期



2020年3月期

(百万円)

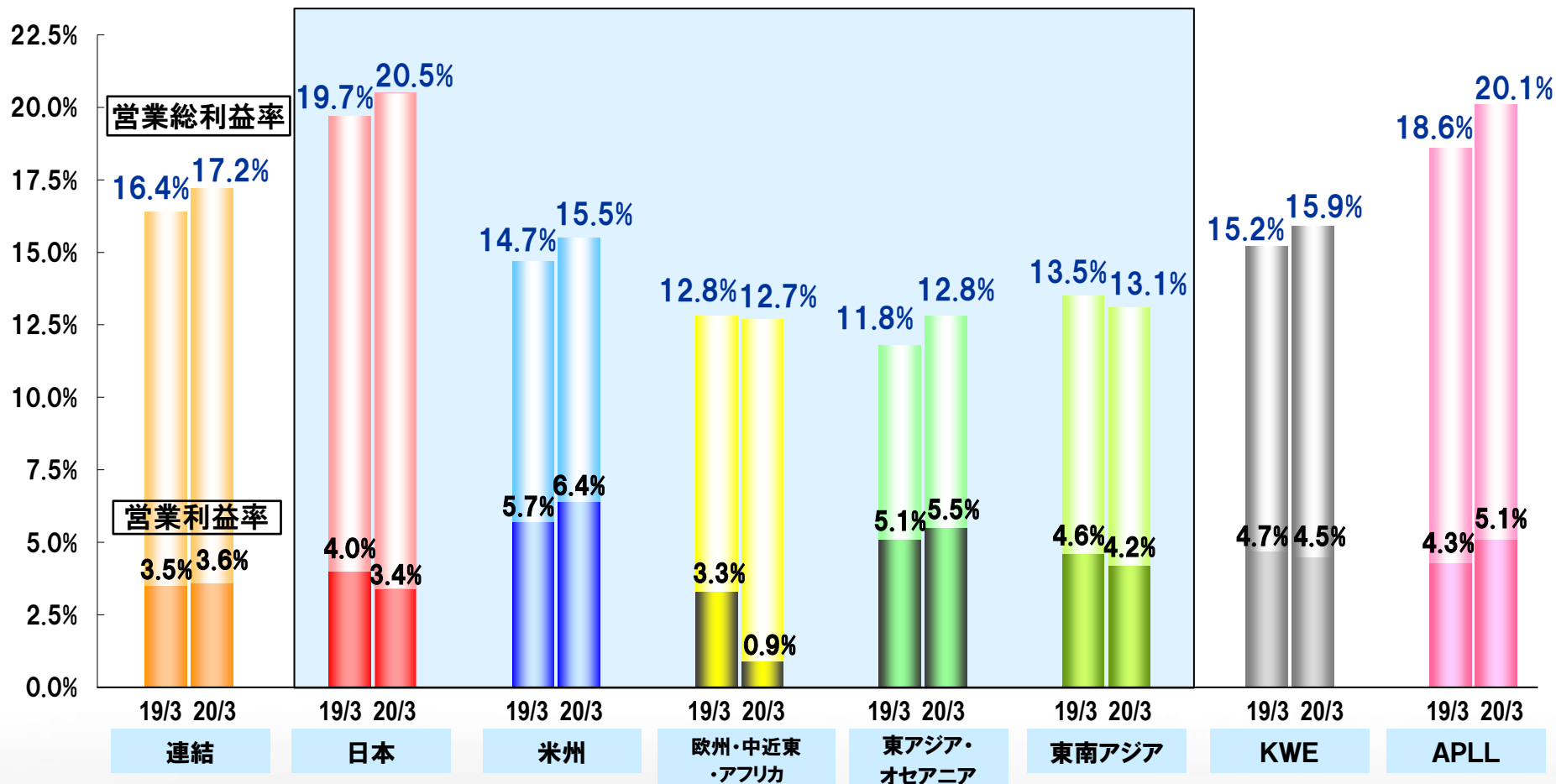


セグメント別営業利益	2019年3月期	2020年3月期	前期増減率 %
日本	5,777	4,667	△19.2
米州	3,597	3,755	4.4
欧州・中近東・アフリカ	1,402	321	△77.1
東アジア・オセアニア	5,193	5,125	△1.3
東南アジア	2,661	2,302	△13.5
APLL	8,311	9,118	9.7
のれん等の償却等	6,314	5,898	—
その他	145	303	108.3
調整額	20	18	—
合計	20,797	19,714	△5.2

※当期より、連結子会社1社を「APLL」から「米州」へセグメント変更しており、前期のセグメント実績は変更後の区分で記載しています（前期は米州で+206百万円、APLLで△206百万円の影響）。※円グラフは、APLLののれん等償却等前の数値で作成しています。

セグメント別営業総利益率・営業利益率

2019年3月期／2020年3月期



※APLLの営業利益率は、のれん等の償却等前の数値で計算しています。

2020年3月期 セグメント別 概況

日本

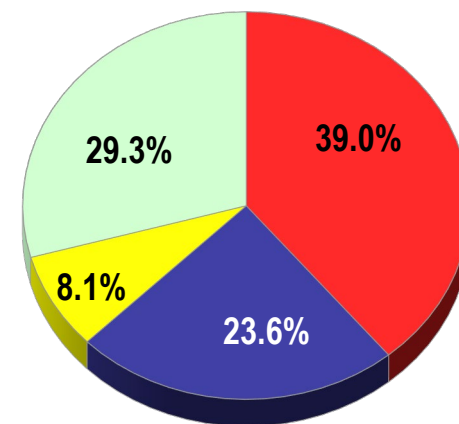
(カッコは日本単体) 単位:百万円

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期増減率%
営業収入	145,669 (116,197)	136,808 (103,788)	△8,860 (△12,409)	△6.1 (△10.7)
営業利益	5,777 (2,949)	4,667 (1,772)	△1,110 (△1,177)	△19.2 (△39.9)

物 量	2019年3月期	2020年3月期	前期増減率%
航空輸出(トン)	160,733	136,737	△14.9
航空輸入(件)	364,092	346,072	△4.9
海上輸出(TEU)	149,450	136,095	△8.9
海上輸入(件)	115,468	108,201	△6.3

- ・単体は航空、海上ともに物量減少が響き大幅減益
- ・国内関係会社はロジスティクスが好調に推移

営業収入の事業別構成比



※これまで日本単体の事業構成比を示していましたが、当期より国内関係会社を含めた日本セグメント全体の構成比を開示しています。

(参考) 2019年3月期実績

航空貨物輸送	43.3%	海上貨物輸送	23.3%
ロジスティクス	6.8%	その他	26.6%

2020年3月期 セグメント別 概況

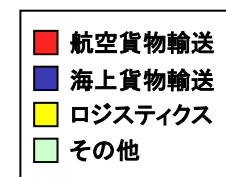
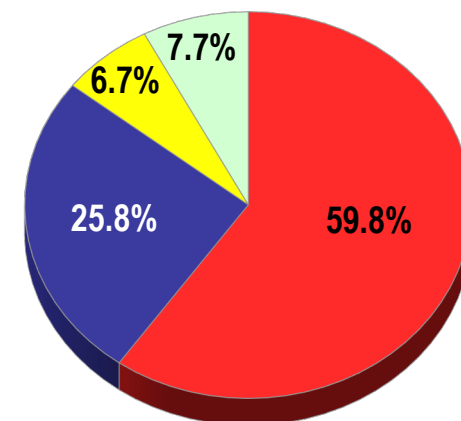
米州

単位:百万円

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期増減率%
営業収入	63,476	58,793	△4,682	△7.4
営業利益	3,597	3,755	157	4.4

物量	2019年3月期	2020年3月期	前期増減率%
航空輸出(トン)	111,395	106,407	△4.5
航空輸入(件)	134,106	117,321	△12.5
海上輸出(TEU)	48,791	45,661	△6.4
海上輸入(件)	37,211	37,553	0.9

営業収入の事業別構成比



- ・ 航空・海上物量が低調に推移する中、ヘルスケア品目やスポット貨物の取扱い増加により収支改善が進捗
- ・ 為替影響 営業収入: △1,392百万円 営業利益: △80百万円

※当第2四半期より、連結子会社1社を「APLL」から「米州」へセグメント区分を変更しており、

前期のセグメント実績は変更後の区分で記載しています(前期は営業収入で+1,941百万円、営業利益で+206百万円の影響)。

2020年3月期 セグメント別 概況

欧州・中近東・アフリカ

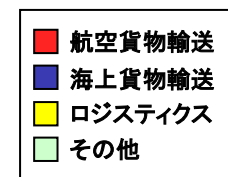
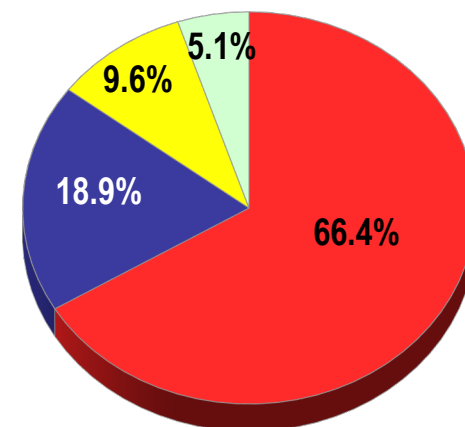
単位:百万円

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期 増減率%
営業収入	41,934	35,391	△6,543	△15.6
営業利益	1,402	321	△1,081	△77.1

物 量	2019年3月期	2020年3月期	前期 増減率%
航空輸出(トン)	67,769	62,077	△8.4
航空輸入(件)	131,875	101,151	△23.3
海上輸出(TEU)	18,741	18,203	△2.9
海上輸入(件)	16,416	17,126	4.3

- ・ 南ア法人の低迷、英国およびベネルクス法人の不振が響き大幅減益
- ・ 為替影響：営業収入：△2,463百万円 営業利益：△94百万円

営業収入の事業別構成比



2020年3月期 セグメント別 概況

東アジア・オセアニア

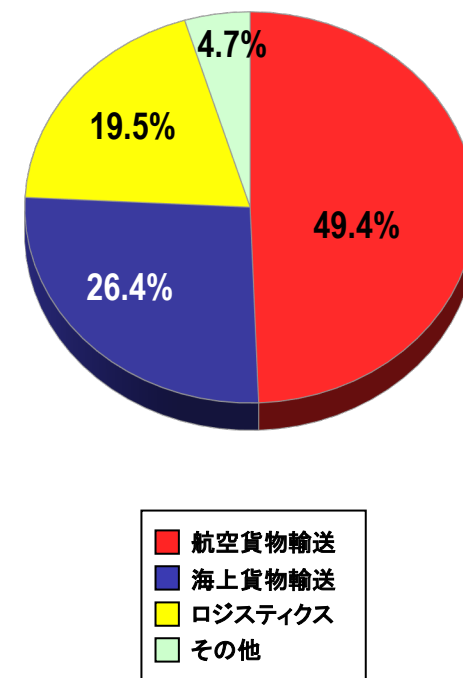
単位:百万円

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期 増減率%
営業収入	101,531	93,947	△7,584	△7.5
営業利益	5,193	5,125	△67	△1.3

物 量	2019年3月期	2020年3月期	前期 増減率%
航空輸出(トン)	150,477	149,328	△0.8
航空輸入(件)	488,605	447,217	△8.5
海上輸出(TEU)	227,689	220,479	△3.2
海上輸入(件)	62,492	58,859	△5.8

- ・ エレクトロニクスを中心に航空・海上物量が減少、中国でのロジスティクス事業も低迷
- ・ 為替影響：営業収入：△5,205百万円 営業利益：△306百万円

営業収入の事業別構成比



2020年3月期 セグメント別 概況

東南アジア

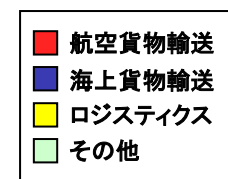
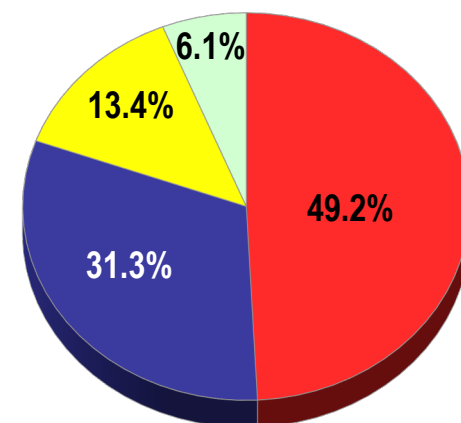
単位:百万円

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期増減率%
営業収入	57,966	54,783	△3,184	△5.5
営業利益	2,661	2,302	△359	△13.5

物 量	2019年3月期	2020年3月期	前期増減率%
航空輸出(トン)	110,474	102,266	△7.4
航空輸入(件)	221,677	195,449	△11.8
海上輸出(TEU)	166,697	162,518	△2.5
海上輸入(件)	55,891	50,575	△9.5

- ・ 航空・海上物量の減少に加え、直接原価率の上昇も影響し減益
- ・ 為替影響：営業収入：△501百万円 営業利益：△12百万円

営業収入の事業別構成比



2020年3月期 セグメント別 概況

APLL

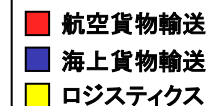
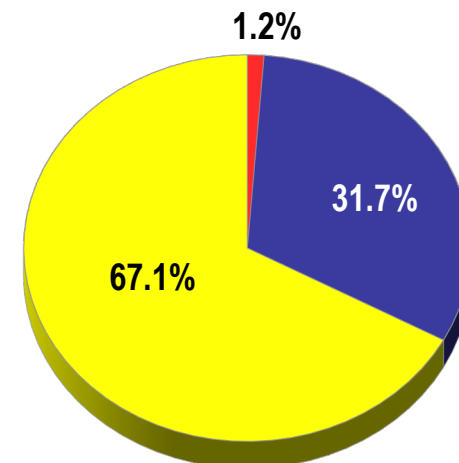
単位:百万円

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期 増減率%
営業収入	194,982	177,147	△17,834	△9.1
営業利益	1,997	3,220	1,222	61.2

- ・ 自動車・リテールの主要顧客の取扱い減少により減収も、営業総利益率の改善や販売管理費の抑制などにより大幅増益
- ・ のれん等の償却等前の営業利益は9,118百万円（前年同期は8,311百万円）
- ・ 為替影響：営業収入：△2,460百万円 営業利益：△106百万円

※当第2四半期より、連結子会社1社を「APLL」から「米州」へセグメント区分を変更しており、前期のセグメント実績は変更後の区分で記載しています。
（前期は営業収入で△1,941百万円、営業利益で△206百万円の影響）。

営業収入の事業別構成比



2021年3月期業績見通しについて

新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大の影響により、現在、先行き不透明な事業環境となっております。

2021年3月期の連結業績見通しにつきまして、現時点で合理的に予想することは困難であると判断し、業績予想および配当予想は未定としております。

今後、合理的な業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

事業環境の認識と今後の見通し

COVID-19の影響に対する当社の対応

「新型コロナウイルス対策本部」を設置。すべての従業員とその家族の健康維持を最優先とし、感染予防・拡大防止のための措置、勤務形態、顧客対応等を指示、BCP体制を構築。また、各国の状況をタイムリーに把握し社内外に情報を共有。

物流は社会インフラ機能の維持に不可欠な“Essential Business”と位置づけられ、可能な限り感染の予防措置を講じたうえで、物流企業としての社会的使命を果たすため最大限に事業継続に注力。

世界的な輸送需要の低迷

2月に中国で端を発した生産停止が3月以降世界に波及。加えて広範囲に及ぶ消費の落ち込みにより、今後一層の輸送需要の低迷が懸念される。

輸送スペースの減少と運賃原価の高騰

旅客便の大幅減便により輸送スペースが減少。

スポット取引でスペース確保に努める。運賃原価は高値で推移。

中期経営計画 1年目の主な進捗 (1)

◆ 経営基盤の強化

グループガバナンスの強化

- ・組織横断的なコーポレート部門の設置
プランニング&アドミニストレーション/ファイナンス&アカウンティング/ IT/HR/
セールス&マーケティング/監査/内部統制の7部門を設置
- ・日本本部の設置

次世代ITの企画/導入

業務の効率化に向け、現行システムを補完する業務システム“TED”を世界の主要拠点で順次導入を開始

財務健全性の向上

- ・フリーキャッシュフローの増大による有利子負債の削減が進捗
純有利子負債は前期末155億円減少し、650億円へ
- ・資金調達方法の多様化を図るため、社債を100億円新規発行

中期経営計画 1年目の主な進捗 (2)

◆営業戦略

顧客基盤の拡充

コーポレート・アカウント(CA)の取扱物量: 航空貨物は前期比+4%、海上貨物は△3%

品目別営業戦略の推進

エレクトロニクス、自動車は、米中貿易摩擦や世界経済の減速で取扱物量が減少
ヘルスケアは、順調に取扱いを増やし顧客基盤を拡大
リテールは、APLLとの協業を含めたグループ横断的な戦略を推進

アジア域内およびアジア発着物量の拡大

- ・2019年10月、KWEスリランカ法人の営業を開始
- ・重点強化国での事業拡大
(2019年度 取扱物量の前期比)
 - インドネシア : 航空輸出重量△14%、海上輸出容積+5%
 - ベトナム : 航空輸出重量+90%、海上輸出容積+9%

中期経営計画 1年目の主な進捗 (3)

◆オペレーション戦略

スケールメリットを活かした原価削減

航空：Forwarding Strategic Group(FSG)を設置。グループでの物量拡大に向けた輸送スペースの確保、原価の安定化などを目指した購買体制を整備

海上：香港所在のGroup Procurement Center(GPC)における集中購買を推進

◆APLLグループ

顧客産業別(Automotive,Retail,Consumer and Industrial)ビジネス拡大の推進

- Automotive : インドでの鉄道による自動車輸送サービス拡充のため、鉄道車両編成を増加
- Retail : Digitalizationに対応したサービスの向上を推進
- Consumer & Industrial : Retailで培ったオーダー・マネジメント・サービスの主要顧客への販売を展開

事業環境

- ◆世界的な経済活動の低迷 (COVID-19影響の長期化懸念)
 - ・生産活動の縮小、サプライチェーンの乱れ、消費市場の低迷、貿易の縮小
- ◆輸送スペースの需給不均衡の継続、運賃原価の変動、断続的な緊急輸送需要の発生
- ◆荷主企業のサプライチェーンの変更

当社グループの対応

- ・市場と荷主の動向を把握し、そのニーズに対し迅速かつ的確に対応
- ・輸送スペースの確保
- ・キャリアとの関係強化、グループでのスケールメリットを活かした集中購買体制の強化
- ・技術革新(IoT、AI、5G、EV等)関連品の継続した取り込み
- ・コーポレート・アカウント(CA)を中心とした、非日系企業への継続したアプローチ
- ・現状に即したオペレーション体制の整備・強化・効率化の推進
- ・テレワークや変形労働時間制度の推進による中長期的な労働環境の整備

コアビジネスへの集中による事業規模拡大

2021年度 目標	
KWE	APLL
営業収入	7,200億円
営業総利益率	16.4%以上
フォワーディング	サプライチェーン・ソリューション
<ul style="list-style-type: none"> ● 営業収入 5,000億円 ● 航空貨物物量: 80万トン ● 海上貨物物量: 90万TEU 	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業収入 2,200億円

“ Global Top 10 Solution Partner ” ～日本発祥のグローバルブランドへ～

- ◆ 総力を結集し、品質・競争力・課題解決力をさらに高め、KWEグループとしてのブランドを確立する。
- ◆ お客様から選ばれる企業となり、欧米競合他社が席卷する市場で確固たる地位を築く。
- ◆ 従業員が誇りを持てる企業となる。

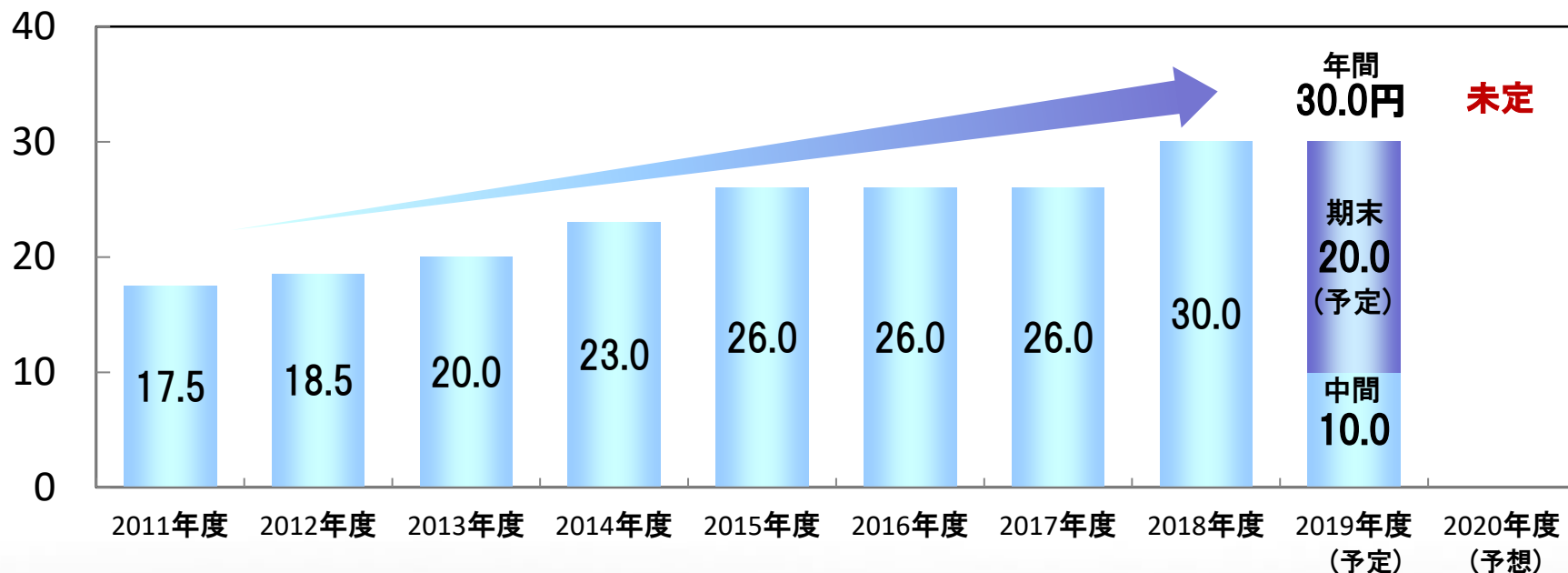
目 標	
営業収入	1兆円
営業利益	500億円
航空貨物物量	Over 100万トン
海上貨物物量	Over 100万TEU
財務健全性	純有利子負債ゼロ

当社グループは、財務体質の強化(有利子負債の削減等)および将来の事業展開に備え内部留保の充実を図りつつ、経営基盤の強化等を総合的に考慮しながら、**安定的かつ継続的に株主還元**を行っていくことを基本方針としています。

なお、2020年度の業績予想を未定としていることから、配当予想も未定としています。業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

1株当たり年間配当金(円)

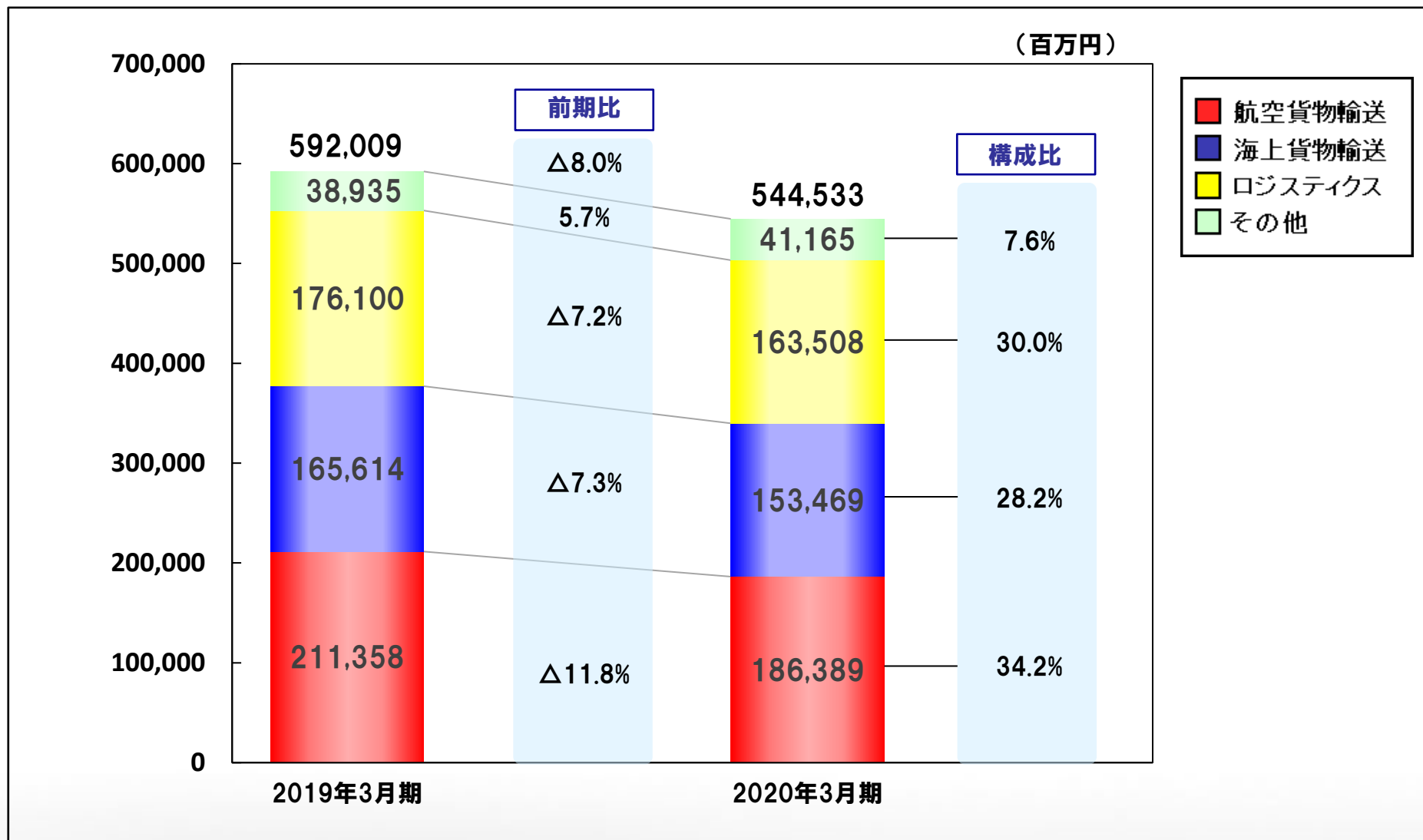
1株当たり配当金の推移



※当社は2015年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記グラフの1株当たり配当金は当該株式分割が2010年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

参考資料

営業収入の事業別内訳



輸送モード別の営業粗利益率

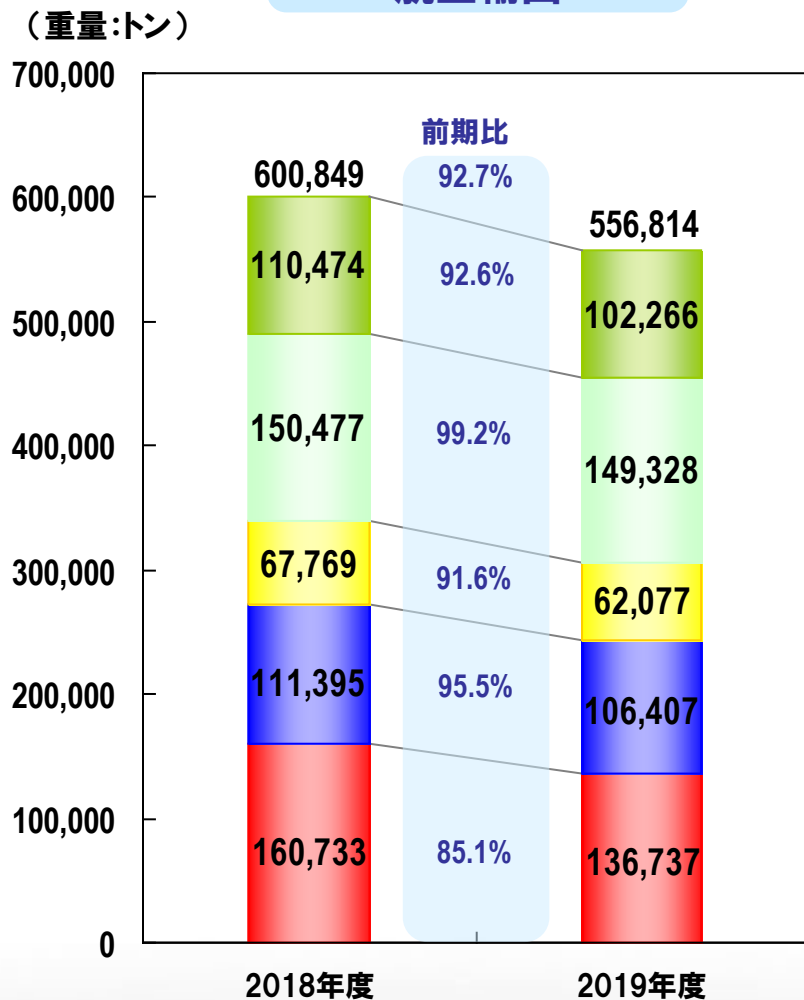
* 営業粗利益＝営業収入－直接原価

	2019年3月期				2020年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
航空輸送	25.1	25.0	24.7	25.1	26.0	26.5	26.6	27.3
海上輸送	27.4	27.3	27.7	27.6	27.9	27.9	28.0	27.9

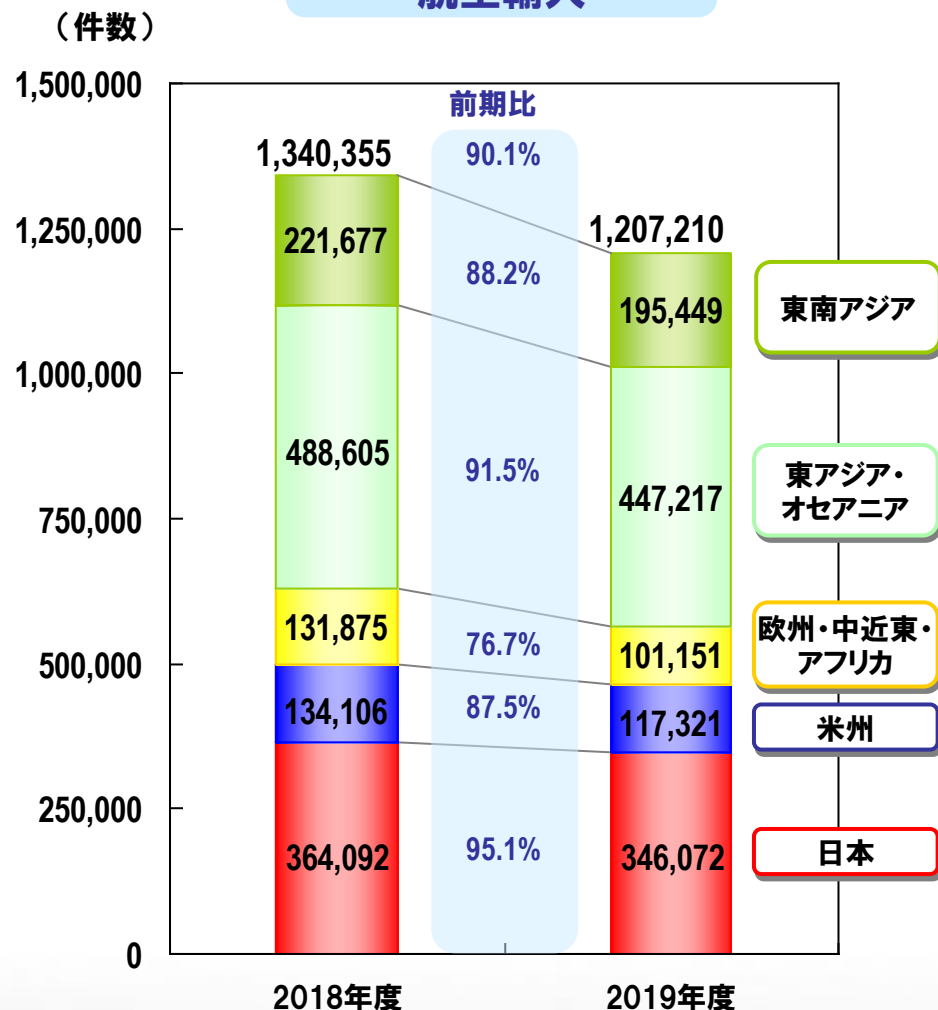
※数値は%、累計数値

セグメント別物量実績 (航空)

航空輸出



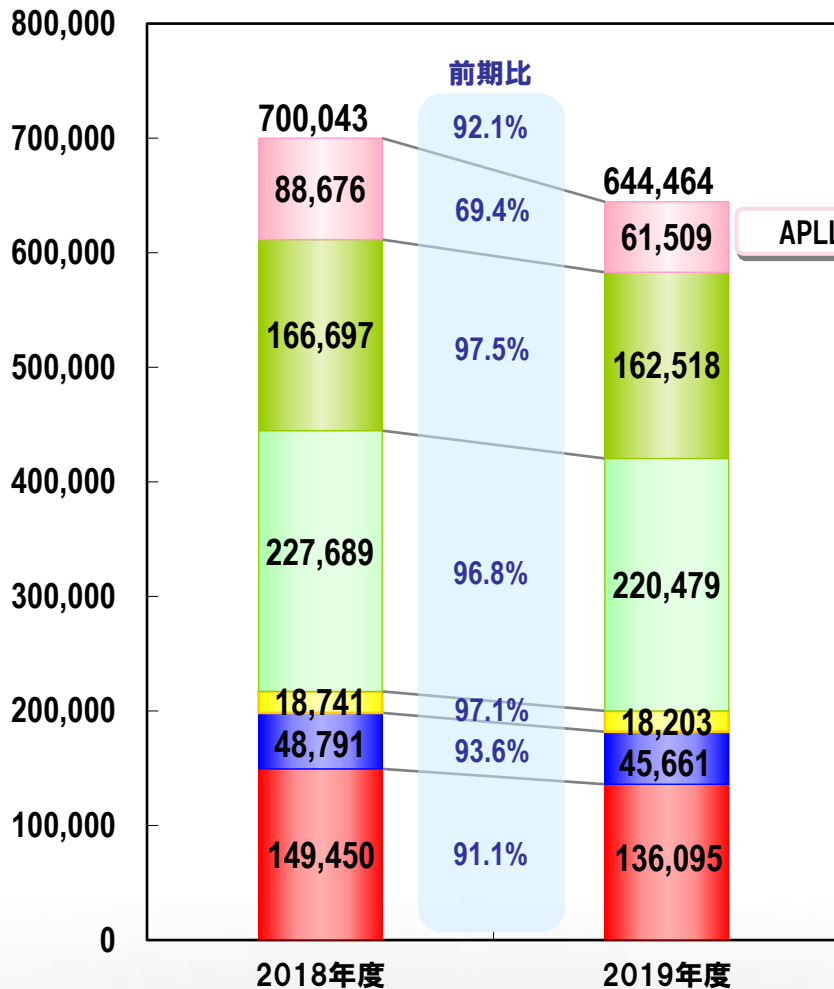
航空輸入



セグメント別物量実績 (海上)

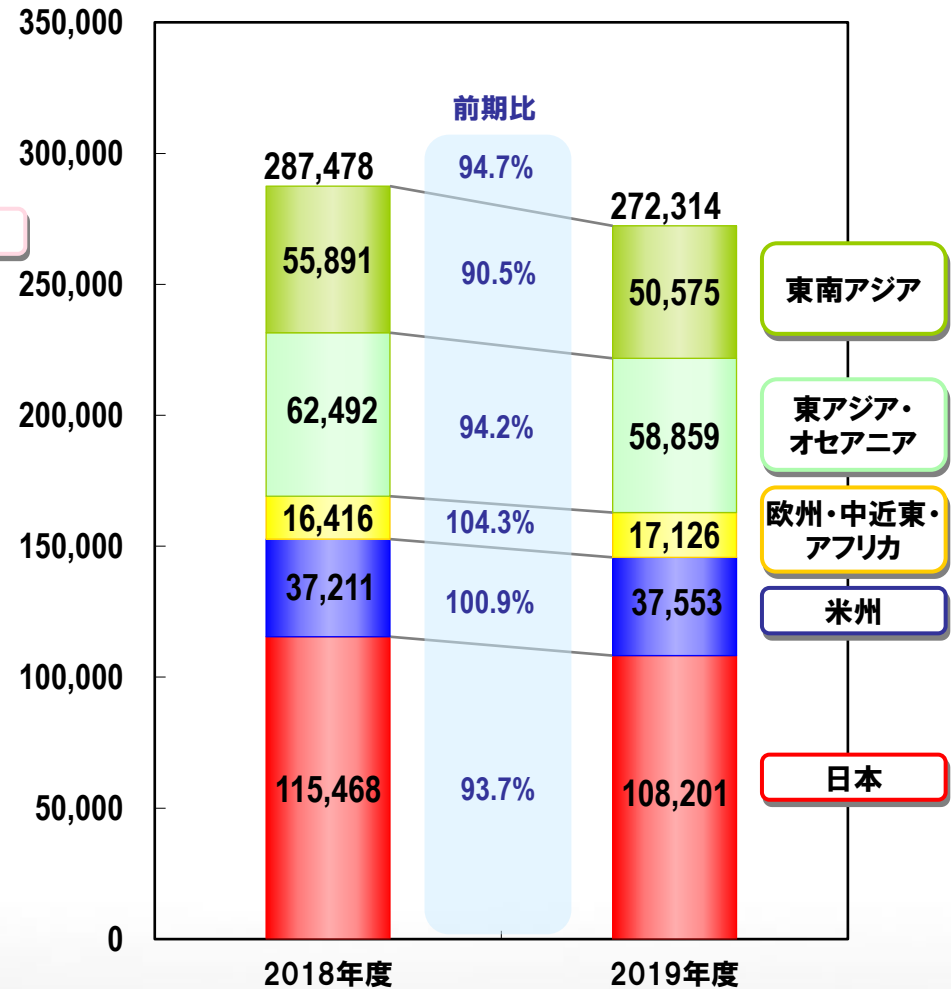
海上輸出

(容積:TEU)



海上輸入

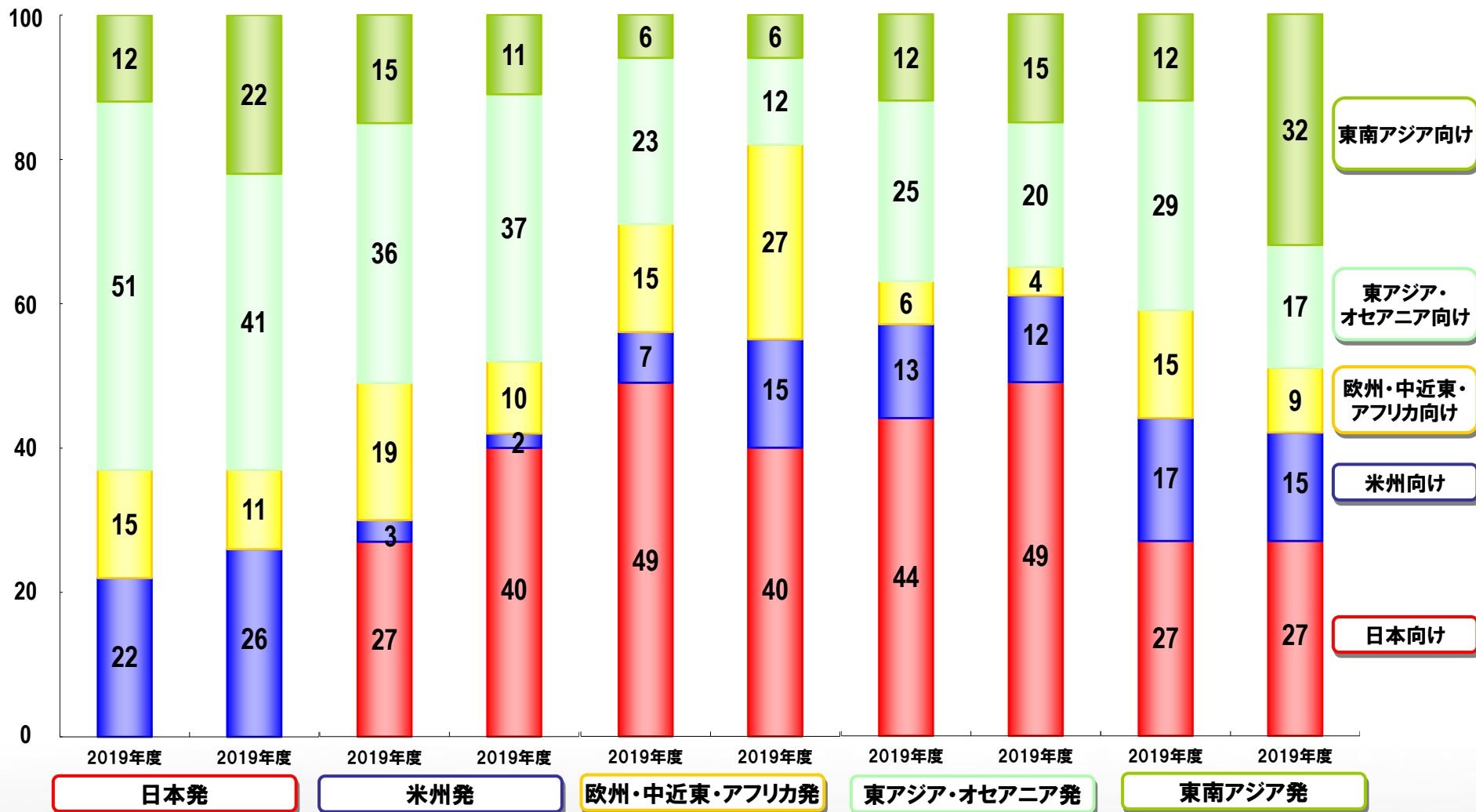
(件数)



航空・海上輸出物量取扱実績（仕向地別構成比）

左グラフは航空輸出物量・右グラフは海上輸出物量

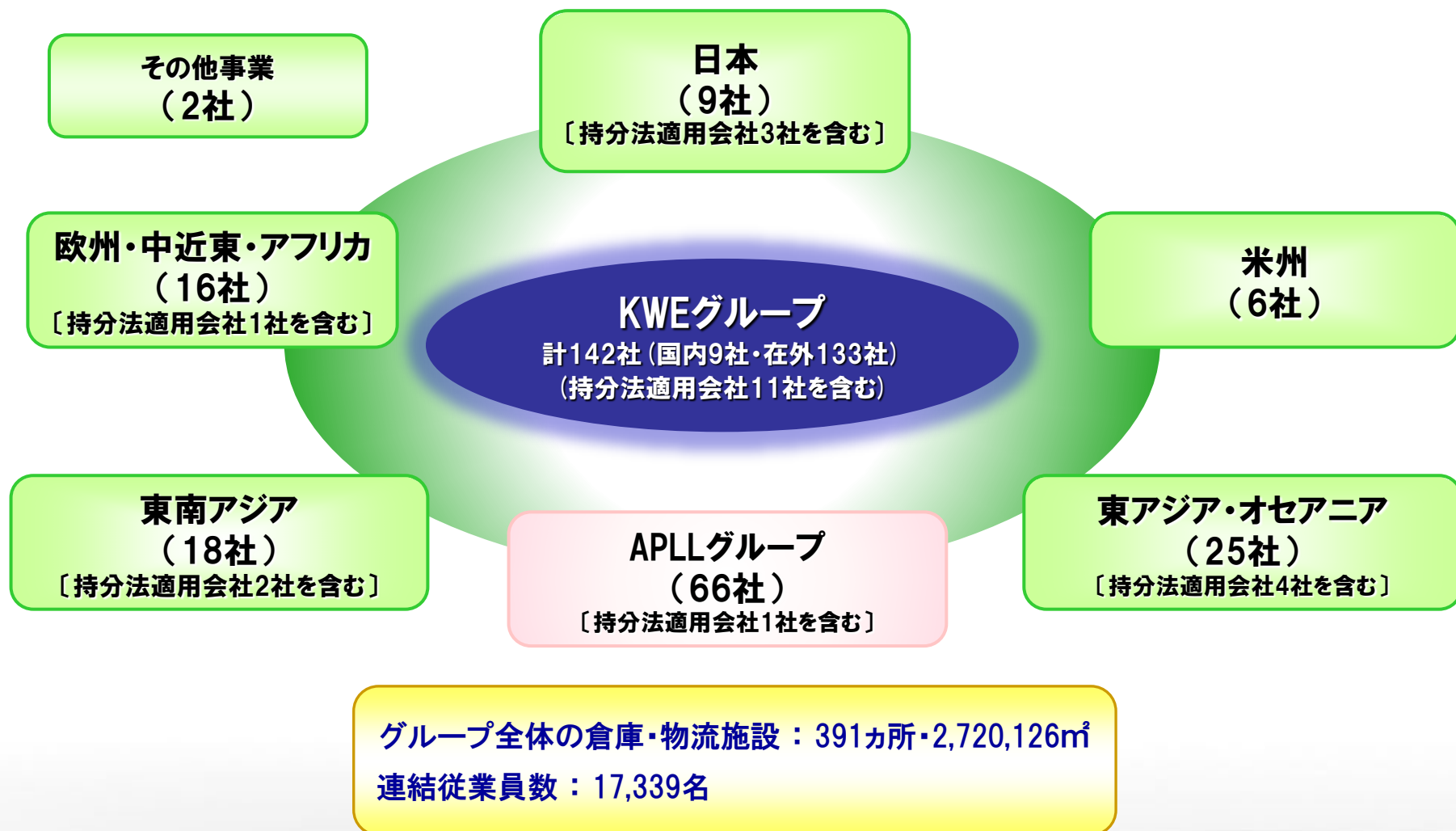
（構成比：%）



※上記実績はAPLL取扱い分を含んでいません。

当社グループのグローバル・ネットワーク

世界 46カ国 311都市 834拠点（2020年3月31日現在）



さすがだね、を世界中で。



Global Logistics Partner

本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、下記までお願いいたします。

株式会社近鉄エクスプレス

コーポレート・プランニング&アドミニストレーション部 IR担当 木村

TEL:03-6863-6443 <https://www.kwe.co.jp>

※ 本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。